

巻頭言

日本の光学研究と Optical Review ……野村孝徳

2018年 日本の光学研究

森田隆二 / 増子拓紀 / 立間 徹 / 篠田一馬 / ニコラ  
パヴィヨン / 小澤祐市 / 高野秀和 / 井手口拓郎 / 加  
納英明 / 八木英樹 / 桐山博光 / 伊藤佑介 / 清水亮介 /  
藤 貴夫 / 生田力三 / 廣理英基 / 高原淳一 / 長谷栄  
治 / 野村孝徳 / 白井智宏 / 金 亮鎮 / 渡辺英治 / 石  
川憲治 / 中村友哉 / 白木厚司 / 松浦基晴 / 中島光雅 /  
小野円佳 / 澤山正貴 / 末松 誠 / 西野 恒 / 河野託  
也 / 吉森 久 / 後藤優太

光学ハイライト

欧州に立ち上がる三極の ELI 研究所 ……田中和夫  
気になる論文コーナー

今後の特集予定

48巻 7号「面型発光デバイスの技術進展と産業応用」  
48巻 8号「人の行動・生理反応を捉える光技術」

光によるリモートセンシングは、地球規模の環境計測から局所的な大気分析、生態系情報に至るまで、幅広い規模での情報取得を可能にし、地球環境、防災、宇宙開発分野など、さまざまな分野ですでに欠かすことのできない重要技術となっています。さまざまな対象物の測定が試みられているのと同時に、システムの小型化や高感度化、新規波長域開拓などの技術開発も絶えず進められています。リモートセンシングの歴史は長いですが、近年、自動運転などの周囲環境を高精度に把握する必要性、より安全・安心・低環境負荷に向けた計測技術の必要性など、観測困難な対象物や場所、および高品質な観測のニーズは高まるばかりと感じています。今回の特集では、リモートセンシングの中でもセンシング技術面に注目して、ハードウェアおよびソフトウェア両面からの技術開発の最前線について、信号処理や高感度化技術、新規波長帯やスペクトルデータの活用を通じて、これまで見ることが難しかったものが観測できるようになっている現状をご解説いただきました。本特集で解説いただいたセンシング技術開発の最新動向をお読みいただき、リモートセンシングのさらなる可能性に興味をおもちいただければ幸いです。

最後になりましたが、ご多用にもかかわらず本企画のためにご執筆をご快諾いただきました著者の皆様へ、この場を借りて深く御礼申し上げます。(大平, 浦野)

特集関連の原著論文を募集しています

「光学」では上記テーマの特集を企画しています。これに合わせて、特集テーマに関連のある原著論文を募集いたします。投稿締切は、当該特集号の発行月の4か月前の10日とします。

特集関連の論文については査読作業をより迅速化し、採択となった論文はその特集号の発刊に合わせて掲載するようにいたします。特集号を明記のうえご投稿ください。詳しくは「光学」編集局 kogaku@academic-j.co.jp にお問い合わせください。

日本光学会ホームページ <http://myOSJ.or.jp/>

光 学 2019 ©

第48巻 第5号 <月刊>

2019年5月10日 発行

定価 1,500円 (送料実費)

発行/ 一般社団法人 日本光学会

〒173-0004 東京都板橋区板橋 2-65-6

板橋区情報処理センター 5階

E-mail: info@myOSJ.or.jp

印刷/ 大昭和印刷株式会社

「光 学」編集委員会

齋木 敏治*	石井 勝弘**	有本 英伸†	石飛 秀和
今井 浩	太田 泰友	大平 和哉	小野 篤史
片山 雅博	木村 直樹	紀和 利彦	倉田 智宏
近藤 崇博	笹川 清隆	佐々木俊英	塩田 達俊
庄司 雄哉	菅原 美博	鈴木 基嗣	崔 森悦
須藤 敏行	棚橋 重仁	辻野 賢治	仁田 功一†
長谷川智士	針山 達雄	日達 研一	福武 直樹
松井 崇行	三村 秀和	宮地 悟代	渡邊恵理子
渡辺 向陽			

\*委員長 \*\*副委員長 †光科学及び光技術調査委員長

編集局 岩崎 恵美

〒112-0002 東京都文京区小石川 2-23-11 常光ビル 7F

有限会社 学術新報社

電話 03-3816-3991 Fax 03-3816-3992

E-mail: kogaku@academic-j.co.jp